

平成30年度の事業報告書

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

第十六期事業報告書

I 事業期間

平成30年6月1日～平成31年5月31日

II 事業実施方針

当法人が拠点とする釜ヶ崎の変化は著しく、その変化は加速した。高齢化で亡くなる人がふえ、街は観光産業を発展させ、中華街構想が発表されるなど、不確定な要素が散見される。しかしながら、当法人としては、地域にひらく場を持っているからこそ、そこに真剣に立ち会い、「であいと表現の場」をつくりつづけている。

3年目をむかえたゲストハウス事業を軌道にのせることで運営基盤を整え、表現を軸に、地域に根ざす活動をコツコツとつづけている。まちの変化にともない、アートNPOとして、人々の存在と記憶をつなぐこと、記録することを意識的に取り組んだ。地域にどのように関わるができるかを実践し考察する。2020年の東京オリンピックを契機とするアート及び文化政策において、地域に根ざし人権と表現について考え活動する団体の世界のネットワークングに努めた。

2012年より取り組んでいる「釜ヶ崎芸術大学」は第7期をむかえた。参加者の希望の多さやニーズの高さ、地域やメディアからの注目もあるが、じっさいには地域の参加者の高齢化により、釜ヶ崎在住の参加者は減少傾向にある。このまちにおける看取りや、記憶をつなぐといった、人間存在のあり方をふかめることにほかならない。釜芸の担う一つの役割は外部からの参加者がこれまで訪れることのなかった釜ヶ崎に足を踏み入れ、景色や人と出会い、空気を吸うこと。こうした機会づくりが、記憶・記録につながると捉え、その醸成を考えている。また参加者から運営者へと主体性を発揮しはじめたアーツマネジメントプロフェッショナルチームのさらなる展開があった。大阪大学と連携した講座作り、釜のおじさんが先生となる「からくり人形ゼミ」、「釜ヶ崎妖怪かるた」など、NHK Eテレでの特集、NHKニュース、NHKワールドジャパンをはじめ、釜芸のインパクトは年々高まっている。また来期には、聴き取りを中心としたプロジェクトや、井戸掘り講座を実施し、釜ヶ崎の元労働者と若者とのあい、また水資源について考えるきっかけとする。

事業費の調達については、ゲストハウス事業の安定的運営をみいだしつつ、アーツマネジメント事業の助成金や寄付につとめた。釜芸寄付講座、賛助会員の獲得などに取り組んだ。他の団体との連携を通じ、スタッフを派遣するなど、スタッフの育成と同時に当団体の視野を広げることに注力してきた。

地域のNPOと協働する連合体「ひと花センター」事業、まちかど保健室、夜回りなど、地域での活動についても地道に継続し、まちにおけるアートの領域拡大の社会化についても深めてきた。

「大阪でアーツカウンスルを考える会」のコアメンバーが大阪を離れ、この活動は停滞している。ちいさくとも大阪での文化政策について語り合える場を他団体とも協力し、つくりつづけている。

ホテルやゲストハウスが乱立するこの地域でゲストハウス事業は挑戦であるが、制度を活用せず、

独自事業をつらぬく活動は類をみないものである。無謀ゆえの困難はあるが、スタッフ、理事やまわりの関係者、応援者とともに、地域に根ざした表現の場をひらきつづけることの、社会的インパクトを表していきたい。

変わりゆく釜ヶ崎の10年後20年後をみすえ、これまでの経験と学びをいかす事業の準備もすめたいと考えている。より一層多様なセクターや分野と関わりあうことが予想されるため、その体力をつける時期と考えている。

Ⅲ 事業の計画

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

〔事業名〕 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

〔内容〕 カフェと庭の管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによるつながりづくりを実施する

〔実施場所〕 ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

〔実施日時〕 6月～3月、7時30分から22時00分

〔事業の対象者〕 一般市民

〔収入〕 ￥ 140,500円 (内訳 事業収入 140,500円)

〔支出〕 ￥ 221,832円 (内訳 消耗品費 57,002円、水道光熱費 24,065円 人件費 140,765円)

(2) 調査・研究とその発表の為の放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

〔事業名〕 出版事業

〔内容〕 上田假奈代著『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』の出版など

〔実施場所〕 国内全域

〔実施日時〕 6月～3月

〔事業の対象者〕 一般市民

〔収入〕 ￥ 120,500円 (内訳 事業収入 120,500円)

〔支出〕 ￥ 24,000円 (内訳 売上原価 12,000円、 雑費12,000円)

(3) 人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業

〔事業名〕 まちかど保健室

〔内容〕 釜ヶ崎地域の人向けに無料の健康相談会(血圧と歯科相談)を月1回継続して行う。健康の不安をきくことは日常生活の基礎部分を支えることにつながり、生活の中の悩みをきくきっかけともなる

〔実施場所〕 ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム玄関

〔実施日時〕 6月～3月

〔事業の対象者〕 一般市民

〔収入〕 ￥ 34,000円(内訳 助成金 34,000円)

〔支出〕 ￥ 34,000円(内訳 謝金 20,000円 印刷製本費 14,000円)

(4) 人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業

〔事業名〕 釜ヶ崎まち案内

〔内容〕 釜ヶ崎のまちを歩きながら歴史や現状について、一般市民を対象として水野阿修羅さんにまち案内をしてもらう。

〔実施場所〕 釜ヶ崎地域

[実施日時] 6月～3月
[事業の対象者] 一般市民
[収入] ￥ 40,000円 (内訳 参加費40,000円)
[支出] ￥ 23,000円 (内訳 旅費交通費 23,000円)

(5) アーツマネジメント普及のためのコンサルティング事業
[事業名] 「釜ヶ崎芸術大学」事業
[内容] 釜ヶ崎地域を大学にみたく、さまざまな講座を開催する。誰もが集い学び合える場と機会を創出する。
[実施場所] 釜ヶ崎地域など
[実施日時] 6月～3月
[事業の対象者] 地域住人、一般市民、旅行者など
[収入] ￥ 1,200,500円 (内訳 助成金 1,100,000円 参加費 100,500円)
[支出] ￥ 9,138,203円 (内訳 謝金 1,900,000円 事務用品費 70,765円、印刷製本費 1,890,765円、通信費 280,543円、旅費交通費 950,532円、会場費 68,500円、人件費 3,654,000円 広報費 120,098円、外注費 200,000円、会議費 3,000円)

(6) アーツマネジメント普及のためのコンサルティング事業
[事業名] 「詩の学校」事業
[内容] 月に1回、一般市民を対象として上田假奈代の「詩の学校」を開催。
[実施場所] 應典院
[実施日時] 6月～3月
[事業の対象者] 一般市民
[収入] ￥71,000円 (内訳 参加費 71,000円)
[支出] ￥10,000円 (内訳 会場費 10,000円)

(7) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業
[事業名] 「ひと花プロジェクト」事業
[内容] 西成区の単身高齢生活保護受給者のためのつながりづくり事業への参画および、表現プログラムのコーディネーター、就労体験受け入れ
[実施場所] 地域
[実施日時] 6月～3月
[事業の対象者] ひと花センター登録者及び一般市民
[収入] ￥ 565,213円 (内訳 事業収入565,213円)
[支出] ￥ 504,453円 (内訳 人件費 504,453円)

(8) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業
[事業名] 「ライフサポート路木」事業
[内容] ライフサポート路木と連携し、高齢者・障がい者が社会とつながる機会と安心して生活できる場をつくるための生活サポートなど
[実施場所] 地域
[実施日時] 6月～3月
[事業の対象者] 支援ハウス路木住民及び一般市民
[収入] ￥ 450,000円 (内訳 事業収入450,000円)
[支出] ￥ 450,000円 (内訳 人件費 450,000円)

(9) 包摂型就労支援事業

[事業名] 就労体験受け入れ

[内 容] コネクションズおおさか等と連携し、働くことに不安を抱える若者に就労体験の場を提供する

[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

[実施日時] 6月～3月、随時実施

[事業の対象者] 一般市民

[収 入] ￥ 20,000円 (内訳 事業収入20,000円)

[支 出] ￥ 0

(10) カフェ事業

[事業名] カフェ事業

[内 容] 交流スペースにおけるつながりづくりとしてのカフェ事業

[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

[実施日時] 6月～3月、7時30分から21時30分

[事業の対象者] 一般市民

[収 入] ￥ 5,170,270円 (内訳 事業収入 5,170,270円)

[支 出] ￥ 3,918,494円 (内訳 人件費 1,360,000円、売上原価 2,402,301円、消耗品費 142,103円、雑費14,090円)

(11) ゲストハウス事業

[事業名] ゲストハウス事業

[内 容] 交流スペースにおけるつながりづくりとしてのゲストハウス事業

[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

[実施日時] 6月～3月

[事業の対象者] 一般市民

[収 入] ￥11,710,850円 (内訳 事業収入 11,710,850円)

[支 出] ￥12,366,657円 (内訳 人件費 3,006,881円、消耗品費 890,891円、事務用品費 34,034円、水道光熱費 808,907円、通信費 243,654円、諸会費 55,543円、旅費交通費 125,340円、管理費 200,054円、家賃5,010,450円、支払手数料 550,178円、修繕費 7,650円、広報 50,457円、租税公課 235,765円、減価償却費 106,654円、リネンクリーニング費 740,076円、雑費300,123円)